

質問1: 説明会の時間設定に問題がある。質問の時間がわずか20分しかないのはバランスが悪い。隈研吾氏が退席して職員が答えるようにして、最低でも2時間は対応してほしい。全員の質問を受け入れられる時間設定をしてほしい。

小平市: 隈研吾氏のお時間の都合で設定した。市の職員は説明会終了後も残るため、市に質問があれば説明会后、直接お受けする。このため、進行に関しては次第に沿って進めさせていただく。

質問2: 新建物の運営は直営なのか、指定管理なのか。施設は有料なのか、無料なのか。隈研吾氏は小平市からこのことについて話を聞いているか。

小平市: 施設の運営について、公民館の事業企画は直営を考えているが、他の貸し部屋や多目的室の運用等については、民間の活用も視野に入れて検討している。施設の有料無料という話と民間活用は関連するものではないが、施設の有料無料の話は市の他の公共施設との関係もあるため、市全体の中で決定する。

隈研吾氏: このことについては、今小平市から説明があった通りに聞いている。

質問3: 新建物1階のホールが一番広いため、福祉会館5階のホールと中央公民館のホールの機能を兼ね備えたホールだと思う。1番大きなホールとなるため、ロビーが大事だと思うが、ロビーの目の前がキッズコーナーで大丈夫か。

隈研吾氏: キッズコーナーは集いのひろばとの連動で、現在の位置に設けている。ホール1の左下のメインエントランスとなる部分がホールのホワイエとして機能して、奥にキッズコーナーとなっているため、お互いが邪魔することがないようにしている。

質問4: ホールはガラス張りということだが、防音は大丈夫か。

隈研吾氏: ホール1は、メインホールとなるので、ガラス張りではなく防音重視としている。ホール2はガラス張りではあるが、遮音性は重要なので、床から天井までかなり厚みのあるガラスを完璧にシーリングして、遮音性に配慮している。

質問5: 地球温暖化防止のため、農地・緑地は大事なので、宅地を取り壊したりガレージを造ったりする場合、その樹木を伐採しないで、一時仮置きの場合に移動させて、樹木を欲しい方もしくは、垣根に使いたいという方がいたら、譲り合う樹木バンクという制度がある。樹木はどのようにして選んでいくのか。

株式会社グラック: 新建物の敷地や市庁舎南側の緑地など今回の整備に係るエリア全体について樹木診断調査を行った。基本的な考え方は既存の樹木を極力残す方向である。計画(整備)上、やむなく切る場合や樹木診断で危険と判断された樹木のうち、大木については移植が難しいので伐採していく。小さい樹木については、今後どうするか検討していく。

質問6:健康センター前の駐車場に植わっている、記念植樹のけやきは、移植等を検討されているのか。

小平市:樹木診断の結果、該当のけやきは枝の判定が思わしくなかった。また、中央エリアの整備について、駐車場の確保の要望が多い。枝が落ちる危険性等を考慮すると、けやきの周辺には駐車場が配置できない。動線や台数の影響が大きいため、今回の整備では伐採を考えている。高齢クラブの記念樹であったため、当クラブの役員などに説明し了承を得ている。

質問7:プレイルームやキッズスペースに関してトイレから遠く使いづらいと感じる。

隈研吾氏:子ども用トイレは近くにあった方がよいと考えている。メインのトイレは全体の動線や配管を考え、現在の配置にまとめている。プレイルーム・キッズルームの近くに子ども用の小さなトイレを設けている。

小平市:補足すると、図面のP.3に「親子便座トイレ」という記載がある。これまでは子ども用トイレを設置する想定だったが、保護者が遠くのトイレまで行くのは不便という話がワークショップであったため、親子便座トイレの設置を考えている。

質問8:プレイルームの通路側がガラス張りになっており、通行人からの目が気になる。

隈研吾氏:完全に壁にしてしまうと、建物の角がすべて壁となり閉鎖的になってしまう。目隠しとして、カーテンや遊具を検討していく。

質問9:1階多目的室、ミュージックスタジオ、キッチンスタジオ、工芸室の使用頻度の想定はどのくらいか。

小平市:今までの福祉会館や公民館の利用者だけではなく、今回の事業をきっかけに新しい利用者も増えるよう部屋の配置を考えているため、使用頻度の想定は難しいが、今まで以上に多くの方に使ってもらいたい。

質問10:ホール1は道路から見える場所だと思うが、ギャラリーとホール1を逆にし、ギャラリーを道路から見えるようにできたら面白いと思うが、設計上の理由があれば知りたい。

隈研吾氏:ギャラリーは、ホワイエ部分やエントランスロビーと一体化して使えるようにしている。ギャラリーはよく目に留まる場所で、多くの人が訪れてほしいという考えがあり、配置を奥にしすぎると誰も来こない寂しいギャラリーになってしまう。

質問11:市民が多く集まり、様々なイベントを行い、家族連れが子どもを連れて楽しめるイメージだと思うが、中央エリアまでの交通機関はどうなっているか。既存のバス停(本庁舎前)は1日に数本しかバスが通らない。多摩湖線の青梅街道駅をまちはなれの前に移すという究極の案もある。せっかく隈研吾氏の設計の建物が建つため、建物そのものを見物に来る人もいると思う。駅の位置やバス停の充実、タクシー乗り場の整備など、便利なアクセス環境を計

画に組み込んでほしい。

小平市:このような計画を見ると、夢が広がりこの機会にぜひという気持ちもあると思うが、元をたどれば老朽化した3つの施設をどう建替えるかということに端を発した事業である。中央エリアへの交通アクセスは、市全体の課題として関係部署と情報共有させていただく。

質問12: 室外機を新建物の屋根に置くということだが、別棟の室外機も集合させるということか。室外機から出る温風の配慮はあるか。

隈研吾氏: 新建物の室外機は新建物に、別棟は別棟周辺に設けることとなる。別棟は、空調の効き等を考え、平面図のとおり建物東側に設置する。新建物の室外機を3階の屋上に設置する理由は、1階に設置すると駐車場の確保が十分にできなくなってしまうためである。室外機の設置については音の配慮等が必要なため、今後の実施設計で慎重に進めていく。

質問13: 新建物のホール1の床を木材にしてほしい。桜の木なら最高である。

隈研吾氏: 基本的には木材がよいと思っている。音響の問題もあるので、全体の吸音性を計算してバランスをとる必要がある。木材の方が多目的な使い方ができると考えている。

質問14: 更衣室はあるか。

隈研吾氏: 2階に男女更衣室を設けている。

質問15: どの、あるいはどんな木材を使うのか。できれば内部は無垢材がよい。

隈研吾氏: 木材の手配にはまだ早いと考えているが、多摩産材も使えたらと考えている。

質問16: ロータリーのけやきは伐採するということだが、伐採した木をオブジェやあるいは写真などで活用したり残していく考えはあるか。

隈研吾氏: 立派なけやきのため、何らかの形で残していけるか検討中である。

質問17: 庇の軒を出して日射軽減を考えているとのことだが、カーボンニュートラルに向けて、今回の計画において工夫していることはあるか。

隈研吾氏: 別棟は西向きであるため、西日の対応はさらに検討する必要がある。ガラスの性能を上げたり、ルーバーなどと組み合わせたりして検討していく。太陽光パネルの設置の可能性も十分ある。新建物については、現時点では ZEB Ready を目指している。

質問18: エントランスロビーの天井部分の木がとても印象的だが、全面的に木ではなく、木とそうでないところがあるデザインとなった狙いは何か。

隈研吾氏: 建物全体に樹木のイメージが強く出てくればよいと考えている。全体に貼りつけるのではなく、枝などを思わせるようなイメージを出せたらよいと思っている。

質問19:ハンディキャップのある方のために、香りのする木などを選定してもらえたら、香りを楽しみながら散歩できると思う。

株式会社グラック:まちのはなれ、まちの庭等、新たに緑を作り出すエリアの通路や沿路には香りのある木を植栽する計画を考えている。